

平成17年度 和歌山県文化功労賞

もり かわ たか ゆき
森 川 隆 之

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：富山県

生 年：昭和15年

◎業績及び経歴

昭和39年東京芸術大学作曲科卒業後、昭和43年和歌山大学に着任、昭和57年から教育学部教授となり、平成元年4月から平成5年3月まで和歌山大学教育学部附属小学校長を併任する。

昭和47年和歌山県第九合唱団結成以来、正指揮者として平成8年の第25回演奏会まで合唱指導を担当、和歌山にベートーヴェン『第九』演奏を定着させた。特に、第20回記念演奏会京響／小林研一郎による第九合唱では、その手腕をいかんなく発揮され絶賛を得た。

また、「ふるさと讃歌～紀州路100曲～」による紀州の歌づくりでサントリー地域文化賞を平成2年に受賞し、全国から注目された。「ふるさと讃歌」は、独唱のほか、混声・女声・男声合唱曲にも編曲され、県内外で愛唱され、演奏会を重ねている。

さらに、混声合唱組曲「紀の国のはるに寄せて」、「熊野」、「清姫」、「紀の川」などの大作も作曲され、県内外の合唱団で広く歌われている。

現在、新たな構想のもと、「新ふるさと讃歌」の作曲が進められ、十数曲がすでに発表されている。

和歌山の自然や歴史をテーマとした作品により、本県文化の振興に大きく寄与された功績は多大である。

■現在

和歌山大学教育学部教授

■主な表彰歴等

平成2年 サントリー地域文化賞

平成5年 和歌山県文化奨励賞

平成6年 和歌山市文化功労賞